

「環境マネジメントシステム」活動報告書

平成22年度

環境目的・目標

平成14年3月に策定した「亀岡市環境基本計画」では、望ましい環境像の実現のために4項目の基本目標、そして基本目標を達成するための施策の内容を設定しています。平成19年2月には「亀岡市環境基本計画」をより計画的・具体的に推進していくために「環境基本計画実行計画」を策定しました。

また、平成18年7月に策定した「亀岡市地球温暖化対策実行計画」では、平成16年度に比べ平成22年度までに、市の事務・事業における温室効果ガスの総排出量を3.5%削減する目標を設定しました。

環境マネジメントシステムでは、2つの「実行計画」の実施状況を管理し、計画的な執行を推進しています。

●望ましい環境像・基本目標

瑞々しく健康な大地と清々しい大気、人も自然もいいあんばい

I 緑豊かな自然と健全な大地を守る
「郷づくり」

II 歴史・文化を活かし自然を感じる
快適な都市環境を創造する
「街づくり」

III 環境を守り人にやさしい社会を創出する
「ルールづくり」

IV 自ら考え行動する「人づくり」

●施策の内容

I 緑豊かな自然と健全な大地を守る 「郷づくり」

- 1 水質の保全
- 2 水循環の保全
- 3 ふれあいの場の確保
- 4 流域自治体との協働
- 5 山の緑の保全
- 6 市民参加の森づくり
- 7 森林資源の活用
- 8 大気質の保全
- 9 自動車からの排出ガスの低減
- 10 大気の浄化
- 11 悪臭の防止
- 12 土壌環境の保全
- 13 生態系の保全
- 14 生物環境の把握と理解
- 15 新しい農業の展開
- 16 農地の保全
- 17 街と郷との交流推進

II 歴史・文化を活かし自然を感じる快適な都市環境を創造する 「街づくり」

- 1 景観の保全・向上
- 2 景観を守る仕組みの確立
- 3 緑の創出と保全
- 4 水辺空間の再生
- 5 公共施設の活用
- 6 交通による環境負荷の低減
- 7 公共交通の充実
- 8 下水道等の整備
- 9 騒音、振動の防止
- 10 街の美化

III 環境を守り人にやさしい社会を創出する 「ルールづくり」

- 1 ごみ減量化の推進
- 2 リユース・リサイクルの推進
- 3 グリーン購入等の推進
- 4 省エネルギーの推進
- 5 新エネルギーの利用促進
- 6 推進体制の構築
- 7 行政内の体制の充実
- 8 市民、事業者参加の仕組みづくり
- 9 監視、防止体制の強化
- 10 市民・事業者の環境管理意識の高揚
- 11 情報化・情報公開の推進
- 12 環境復元思想の導入

IV 自ら考え行動する「人づくり」

- 1 人材の育成
- 2 環境教育の推進
- 3 各団体、施設との連携
- 4 団体の育成
- 5 情報の活用
- 6 活動拠点の整備
- 7 国際協力・交流の推進
- 8 地球環境問題対策の推進
- 9 地域交流の推進

実施計画（環境実行計画）の実施状況

I 緑豊かな自然と健全な大地を守る「郷づくり」

目 標		平成22年度の主な実施状況
1	水質の保全	合併処理浄化槽設置整備事業費補助金の交付 年間12件 河川水質検査の実施(35定点) 年2回検査:26定点 年6回検査:9定点
2	水循環の保全	保安林間伐・除伐・下刈を実施(下刈面積4,60ha) 「水漏れチェック」を広報紙等で啓発、水の有効利用に努めた
3	ふれあいの場の確保	「水鳥のみち」、「和らぎの道」の路面清掃、雑草除去、施設の日常管理を実施
4	流域自治体との協働	京都府や関係団体による研修会に参加し、河川環境の保全・復元に配慮した復旧工法等を共通認識とした
5	山の緑の保全	森林環境の保全(樹種転換や間伐、害虫防除による人工林の保全)を実施 行政・森林組合による定期的なパトロールの実施 年間監視日数244日
6	市民参加の森づくり	モデルフォレスト運動による森林整備活動4箇所、森林ボランティア活動3箇所 森林ボランティア団体等への支援 イベントにおいて、特産林産に関するコーナーの設置
7	森林資源の活用	亀岡カーボンマイナスプロジェクトとして炭入り堆肥を活用した事業を実施
8	大気質の保全	野焼き監視パトロール時及び通報に基づき指導を実施 年間指導件3件
9	自動車からの排出ガスの低減	職員を対象に安全運転とともにエコドライブ意識向上の通知を行った ガレリアかめおかにて電気自動車用急速充電器を設置
10	大気の浄化	2010花と緑のフェスティバル開催、各種栽培講習会を実施 (4月17・18日、来場者15,000人)
11	悪臭の防止	家庭ごみの計画的な定期収集を実施、 燃やすゴミ15,133t/埋立てゴミ1,726t/資源ゴミ:1,017t
12	土壌環境の保全	野焼きに対して、パトロール及び通報に基づき指導を実施 年間指導件数3件 「亀岡市土砂条例」に基づく規制及び指導を継続実施
13	生態系の保全	開発行為への継続指導を実施
14	生物環境の把握と理解	ホームページに「亀岡の生きものたちのデジタル図鑑」を掲載 保津地域アユモドキ保全協議会の開催
15	新しい農業の展開	有機質肥料施用のため、安心・安全のエコ農業推進事業を活用し、環境にやさしい農業を推進・エコファーマーを認定
16	農地の保全	国営ほ場整備事業等を推進 中山間地域等直接支払い制度による農地保全・活用を実施
17	街と郷との交流推進	かめおか農業塾を開催(5月9日、5月30日、6月13日、7月25日、8月29日、10月17日)

II 歴史・文化を活かし自然を感じる快適な都市環境を創造する「街づくり」

目 標	平成22年度の主な実施状況
1 景観の保全・向上	屋外広告物の規制に関する規則に基づく、看板・標識の新規設置及び更新における認可 年間48件
2 景観を守る仕組みの確立	建築行為協議時における、都市景観形成基本計画及び都市景観形成ガイドプランに基づく建築景観指導の実施 年間82件
3 緑の創出と保全	街路樹及び公園樹の剪定による維持管理作業の実施 JR駅前等花壇の植替えを、自治会、商店会、花と緑の会などの協力を得て実施、植替え花苗数36, 383ポット
4 水辺空間の再生	古世親水公園の清掃を、管理者と利用者により定期的を実施 つつじヶ丘小学校ビオトープによる体験学習などの実施
5 公共施設の活用	歩道改良による歩行空間のバリアフリー化の促進や緑地帯の整備などにより、自然と調和した空間の創出を推進
6 交通による環境負荷の低減	駅前自転車等の駐車場整備による自転車利用の促進、年間台数 延べ96, 166台
7 公共交通の充実	コミュニティバス、ふるさとバスの運行 年間利用者数 延べ228, 589人
8 下水道等の整備	広報紙「水だより」、ホームページにより水洗化の促進を啓発 年谷浄化センターにて下水道フェスティバル開催 入場者:1, 000人
9 騒音、振動の防止	騒音測定を実施(3月、36箇所) 騒音規制法・振動規制法、京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置届 年間:19件 騒音に対する指導 年間指導件数:1件
10 街の美化	自治会等地域の美化活動への清掃用具の貸付・貸与(年間127団体、延べ25, 856人) 雑草パトロール実施、美化推進重点地域の調査

Ⅲ 環境を守り人にやさしい社会を創出する「ルールづくり」

目 標	平成22年度の主な実施状況
1 ごみ減量化の推進	不燃性粗大ごみの回収 年間36t/ペットボトルの拠点回収 年間回収量151t 給食センターにおける厨芥処理機等を有効利用したごみ減量化の実施 資源ゴミ集団回収報奨金制度の実施 年間回収量3,442t 生ごみ処理機器の普及促進 生ごみ処理容器15基 生ごみ処理機18基
2 リユース・リサイクルの推進	桜塚クリーンセンター施設見学会の実施 小学校19回 自治会等4回 「もったいない塾」開催(延べ参加人数75組)
3 グリーン購入等の推進	亀岡商業協同組合が実施するエコ事業への支援 22年度取扱物品を決定、グリーン製品率98品目中50品目(51.0%) グリーン購入ネットワーク主催イベントへの運営協力
4 省エネルギーの推進	21年度温室効果ガス排出量 16年度比1.2%増加 ライトダウンin亀岡の実施 参加件数43件 CO2削減量49.69kg
5 新エネルギーの利用促進	平成22年度 太陽光発電システム補助制度 申請者数63件、232.78kw
6 推進体制の構築	改正省エネ法施工に合わせた定期報告書、中長期計画書の策定
7 行政内の体制の充実	独自の環境マネジメントシステムを運用 文書廃棄業務の実施(7月)廃棄量31.3t 石油類や試薬等危険物を日常点検・定期点検・年次点検によって適正に管理
8 市民、事業者参加の仕組みづくり	環境フェスタを開催(1月) 清掃用具の貸与(127団体)
9 監視、防止体制の強化	不法投棄監視パトロール実施 年間実施日数241日 不法投棄された現場に看板を設置し、啓発に努めた(20箇所新設) 専任職員1名を配置し、早期撤去を実施
10 市民・事業者の環境管理意識の高揚	亀岡環境の日として環境フェスタを開催(1月)、環境意識の普及啓発実施 農地・水・環境保全向上対策(営農活動への支援)におけるエコファーマー認定の促進
11 情報化・情報公開の推進	家庭ISO・環境美化条例・地球温暖化等環境情報ホームページ掲載
12 環境復元思想の導入	開発行為に関する事前協議での指導の実施

IV 自ら考え行動する「人づくり」

目 標	平成22年度の主な実施状況
1 人材の育成	亀岡子ども川まつり、もったいない塾におけるボランティアの活用
2 環境教育の推進	公募型自然体験事業19回、地域・学校連携事業23回、市民参画による運営事業17回 学校ISOとして、小中学校での電力、コピー用紙、可燃ごみ量、水道使用量を測定 環境に関する作文や、絵画等の取組、花壇や学校水田での栽培、地域環境の調査を実施
3 各団体、施設との連携	児童・地域住民によるクリーンアップ作戦の実施
4 団体の育成	かめおか市民活動推進センター活動支援のため、ガレリア施設の無償貸与等の実施
5 情報の活用	かめおか市民活動推進センターが主体となりホームページを作成、NPO登録等に関する情報を掲載
6 活動拠点の整備	亀岡市まちづくり協働推進委員会の開催、実施計画の策定
7 国際協力・交流の推進	亀岡の自然とハバナネロ農園を体験し交流を深めた(46名参加) ワン・デイ・トリップ・ツアーを実施(11月、90名参加)
8 地球環境問題対策の推進	環境フェスタにおいて、地球温暖化防止コーナーを設置した
9 地域交流の推進	自治会等との連携による不法投棄の撤去を実施